

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・規程等	スポーツ基本法・備前市スポーツ推進委員会に関する条例 外	
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	問	担当課(室)	教育委員会スポーツ振興室
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり	合	職・氏名	室長代理 畑下昌代
	小項目	施策	06 スポーツ・レクリエーション	先	電話	63-3813
事務事業名		03	保健体育総務管理事業	このシート作成に要した時間		2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	体育協会・スポーツ少年団 スポーツ推進審議会・スポーツ推進委員会の各委員 競技スポーツで高いレベルを目指し、全国大会へ出場する人	
目的(何のために)	体育協会・スポーツ少年団の育成・支援することでスポーツ振興を図る。指導者の育成と資質の向上を図る。 激励会を開催し激励金を交付することにより、全国大会出場者の健闘を讃え、競技スポーツの推進・向上を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	体育協会・スポーツ少年団を支援することにより、各種スポーツ人口の増加を図る。指導者の育成、資質の向上によりスポーツ活動の充実・活性化を図る。 全国大会等出場選手を激励・紹介することにより、競技スポーツの人口の増加を図る。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	保健体育総務管理事業	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会への補助金交付	
	各種員会	備前市スポーツ推進審議会年2回・スポーツ推進委員会年4回	
	体育功労者・全国大会等出場選手激励金	備前市の体育に向上進展に寄与した者を表彰。全国大会国際大会等に出場する選手に激励金を交付	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	直接事業費	千円	10,467	10,692	10,787
	必要人員	人員件数	千円	1.59人	1.36人	1.09人
	事業費	費計	千円	25,801	23,731	20,955
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
		繰	入金			
		市	債			
		その他( )				
		一般財源		25,801	23,731	20,955
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績					
	全国大会等出場選手激励金		説明	国・県を代表して全国大会国際大会に出場する者に対して激励金を交付する件数							
	結果	指標	量	114	132	128					
	対	前	年	%	-	115.8%	97.0%				
	活	動	コ	スト	円	1,206,000	1,228,000	1,153,000			
	単	位	当	た	り	コ	スト	円	10,579	9,303	9,008

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	全国大会等出場選手激励金交付件数	目標値(A)	110	115	120	120
		実績値(B)	114	132	128	到達目標値
		達成率(B/A)	103.64%	114.78%	106.67%	120
成果指標設定の考え方・式や説明						
指数は全国大会等の出場者を増やすことが目的であるが、実績値は県や国の予選を勝ち抜いて国際大会・全国大会・小中学生の中国大会へ出場する者と、国民体育大会の岡山県選手団で備前市在住者で激励金を交付した件数。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	有効性の評価	市民参画度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	全国大会・国際大会等に出場することは、スポーツを行う者にとっての目標の一つでもあり、備前市のスポーツ振興にも大きく影響があるので、出場者への健闘を讃え激励金交付は継続する必要がある。平成23年8月から毎月第1週目の水曜日に開催日とされた激励会は、広報や新聞掲載により広く市民に周知できたので引き続き開催したい。

総合評価		総合評価
東備西播定住自立圏形成事業の一環で、スポーツ推進委員の意見交換会やニュースポーツの実技研修会を開催し、2市1町の委員同士の交流が活発に行われた。体育協会・スポーツ少年団への活動補助金交付は年度毎に見直しを行い、有効に活用されスポーツ振興に役立てるよう協議をする必要がある。激励金交付事業も市民にも周知されてきており、競技スポーツ振興においても継続する必要がある。		B

平成25年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	生涯スポーツの振興を図るため、体育協会・スポーツ少年団の支援・指導者の育成を行う。また、青少年健全育成のためにも、スポーツ少年団等の指導者の確保と養成が必要であるため、補助金の増額も視野に入れていく必要がある。全国大会等出場選手の激励については、より推進する必要がある。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価しな